

Q：静岡県富士宮市から暗剣殺とは知らず、茨城県に転勤の引越しをされた方がいました。その方が、あまりに不運な環境にばかり陥るので、ご相談にいらした次第です。友人のアドバイスから、既に引越しをされていましたが、好転の傾向が見られないということで、セカンドオピニオンを求めていらっしやいました。

A：既に5年以上も経った、当時の引越しを検証すると赤線内の引越しということになりました。相談者は、この中の転居を既に2度も行ったのに、何も事態が好転しないということでしたが、理由はいたって簡単です。作用の大きい、凶方位の大きな移動をしてしまった後で、凶範囲内での吉方位の小さな移動を繰り返しても好転は成せません。つまり、図のBのような吉方位を何度繰り返し転居を行っても、当時の大凶方位への移動をリカバーするには、この赤線範囲を超えるAのような大きな転居をしなくては当時の大凶方位の引越しを相殺することは出来ません。

とは申せ、会社員がなかなか好きな時期に好きな場所に引っ越せるわけではありません。所見としては、今は取り合えず、小さな引越しでも構いませんから、吉方位への引越しや旅行を、出来る限り引っ越すべきでありましょう。

大凶方位への転居をカバーする方策

